



青年海外協力隊について



国際医療福祉大学
三浦 和



INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

JICA Japan international cooperate agency

国際協力機構

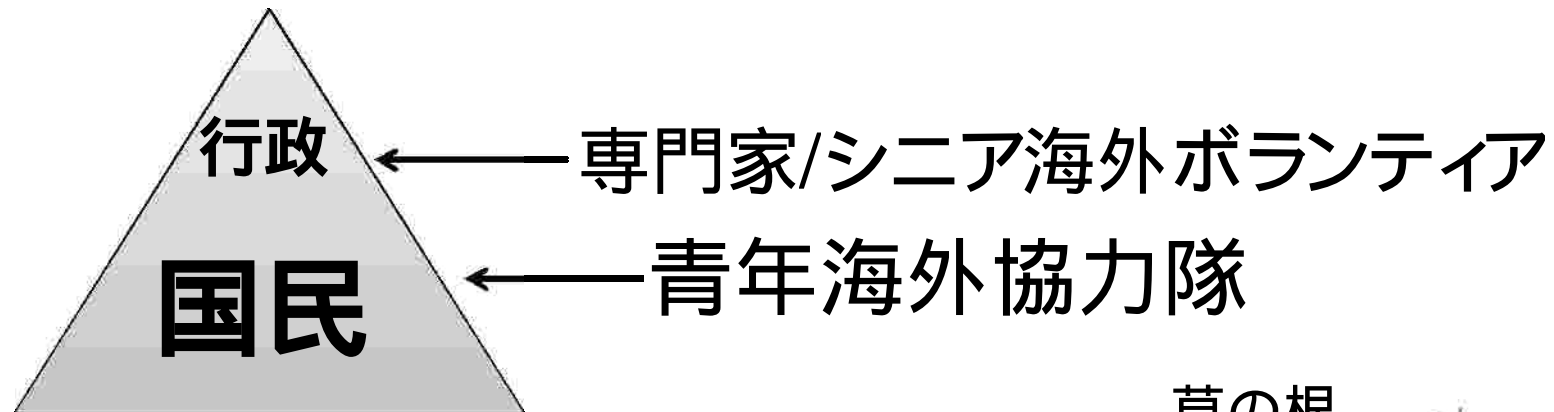
- 2003年10月 1日に設立
(**1962年** 海外技術協力事業団).
- **外務省**管轄の独立行政法人
- 独立行政法人国際協力機構法 (平成14年)
開発途上地域の経済や社会の開発若しくは
復興や経済の安定に寄与する .
? 国際協力の促進 , 日本や国際経済社会
の健全な発展
- 2008年 国際協力銀行 (JBIC)と統合

52年



青年海外協力隊(JOCV) Japan overseas cooperate volunteers

- 日本政府のODA (政府開発援助) の 1つ
- 発展途上国に対する技術的援助



草の根

<http://www.youtube.com/watch?v=Q7MJzvKDhs8&list=UUc-PQPQhYarG5CphhmMUIVA>



派遣までの流れ

青年海外協力隊/シニア海外ボランティア

春募集

3月～5月

5月～6月

7月

8月

秋募集

9月～11月

11月～12月

12～1月

2月

STEP.1 ▶▶▶

応募書類の記入

STEP.2 ▶▶▶

一次選考
(書類選考)

STEP.3 ▶▶▶

一次合否通知

STEP.4 ▶▶▶

二次選考

STEP.5

二次合否通知

合格後

技術補完研修
数日～6ヶ月

派遣前訓練
70日間 (青年海外協力隊)
35日間 (シニア海外ボランティア)

派遣
原則2年間





現在活動中の隊員



職種名 (人)	派遣中		帰国		累計		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
言語聴覚士	0	3	5	26	5	29	34
作業療法士	6	23	60	206	66	229	295
理学療法士	31	25	132	244	163	269	432

2014.4



INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

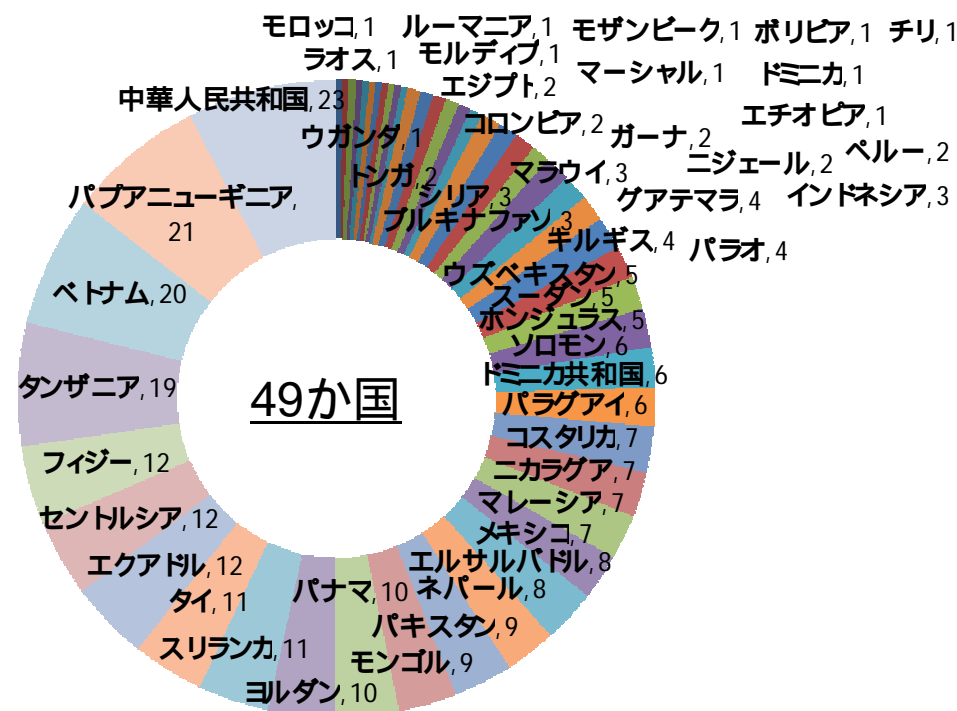


国際協力を受けた経験を持って、
その経験を国際協力に生かすこと
のできる国は日本だけです。
英語、スペイン語、アラビア語、フ
ランス語など60か国における現地語
を話せる専門集団はほかにありま
せん。

JICAリハビリテーション技術顧問

地域別

地域別ではアジア地域がほとんど。
国別で見ると、中国、パプアニューギ
ニア、ベトナムの順。
この他にも、タンザニアなどのアフリカ
地域、ヨレダンなどの中東など全地域。



H26年要請内容

要請数

要請数25



リハビリセンター

総合病院

養護学校

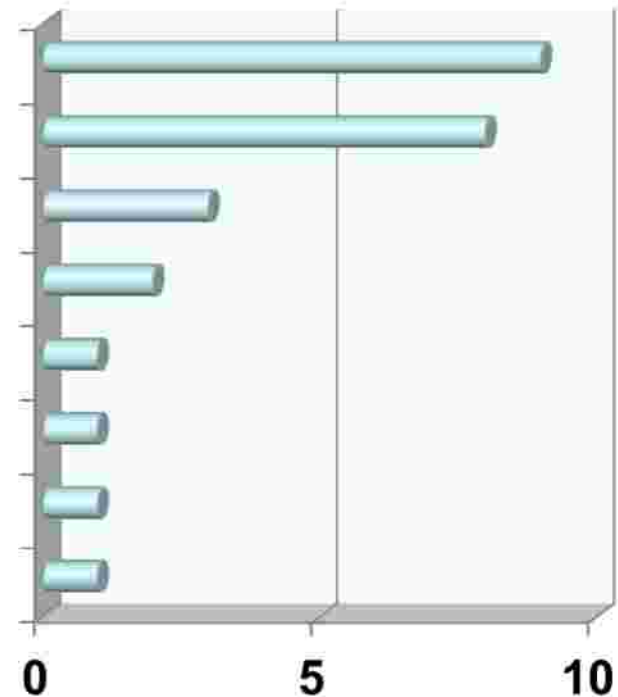
市役所

PT養成校

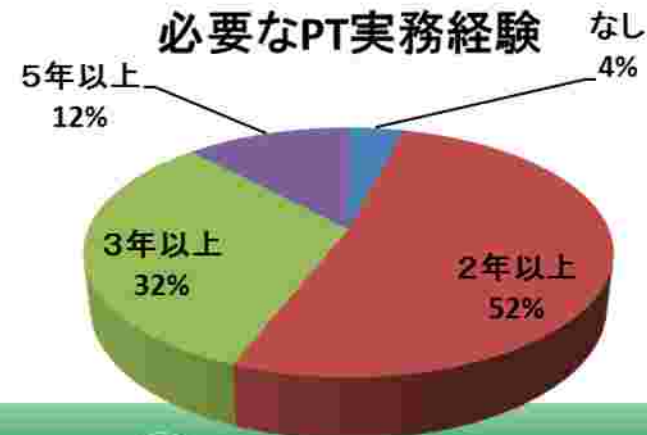
装具センター

健康管理サービス局

社会福祉局



必要なPT実務経験



INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

- 世界人口の多くは**開発途上国**に住んでいる。
このような場所に住む障害のある人の**2%しかリハビリテーションを受けられない**
(WHO,1981)
- 世界人口の半分にあたる33カ国を広域調査
James(1984) :1400万人の身体障害者が存在
.6分の1が特別な配慮を何らかの形で必要だが、**わずか1%しか支援を受けていない**。
- 開発途上国では、都市中心の過剰サービス
限局された専門性などがあり、**リハビリを受
けられない人も多い**。(CBR地域に根ざしたリハビリテーション,2008)



問題点

- 応募数が要請数に満たない・・・

表3-2 応募数が要請数に満たなかった職種 ー平成13年秋募集選考結果ー

順 位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
職種	理学療法士	作業療法士	臨床検査技師	木工	合気道	体操競技	新体操	電子機器	義肢装具士・作成者	花き
要請件数	27	16	17	10	19	6	6	19	4	5
応募人数	16	10	12	5	14	2	2	18	3	4
不足数(要請－応募)	11	6	5	5	5	4	4	1	1	1
2次合格	7	5	2	2	0	0	0	4	1	3



青年海外協力隊で学ぶこと 「共に生きる」

人の「ために」ではなく
その人と「ともに」行動しなさい。
(マザーテレサ)



支援 伝達ではなく対話を



① 銀行型アプローチ



② 課題提起型アプローチ

Nothing About Us Without Us」

デビッドフーナー



INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

聞いたことは
忘れる
見たものは
覚える
したことは
分かる
発見したことは
できる



自分自身で発見すること、それが学びだ



INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

日本リハビリテーション国際交流協会



INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE